

MPS研究会 2018年度・2019年度活動報告

八 幡 雅 彦

MarbleからSmileyへ

MPS研究会の前身は人形劇研究会、通称“Marble”で、2017年度まで9年間の活動を続けていた。しかし2018年3月、当研究会を創設した教員が退職し、残った学生たちの「どうしても活動を続けたい」という思いに応え、外国文化研究会の顧問を務めている私が、こちらの顧問も兼任することを決意した。それに伴い研究会名も、学生たちの発案に従ってMPS研究会と改め、通称Smileyとして新たな出発をすることになった。MPSとは Music Puppet Show「音楽人形劇」の省略で、Smileyは「笑顔の」という意味である。ただし外国が専門であり、人形劇はまったくの門外漢である私が顧問として引き受けた仕事はおもに学外公演の引率であり、人形劇そのものは、先輩学生から伝授されてきたものを学生たちが引き継いで独自に練習し、それを後輩学生に伝えるという形になった。2018年度の練習は月、水、金の週3回夜8時までおもに第1美術教室で行った。Smiley初年となったこの年、最後まで続けたのは2年生13名、1年生11名で、この年の活動の実績は次の通りである。

活動名	日 時	場 所
別府ゴールドデン ウィークカーニバル	2018年 5月4日(金)、 5日(土)	北浜公園 (別府市)
赤十字体験パーク 公演	5月12日(土)	トキハわさだタ ウン (大分市)
アトリうむ遊園地	7月1日(日)	Iichiko総合文化 センター (大分市)

活動名	日 時	場 所
オープンキャンパ ス公演	7月16日(月)	別府大学
夏休み川崎っ子公 民館クラブ公演	7月28日(土)	川崎公民館 (日出町)
パークプレイス公演	9月24日(月)	パークプレイス (大分市)
久住キンダーフェ スト公演	11月3日(土)	コロニー久住 (竹田市久住町)
わくわくフェス ティバル公演	11月14日(水)	別府大学
上野愛光保育園ク リスマス公演	12月2日(日)	上野愛光保育園 (大分市)
鶯野地区クリスマ ス会公演	12月16日(日)	鶯野公民館 (大分市)
人形たちのクリス マス会	12月24日(土)	大分空港 (国東市安岐町)
あいむ保育園公演	12月25日(火)	あいむ保育園 (別府市)
東植田地区児童育 成クラブ公演	12月26日(水)	東植田小学校 (大分市)
庄内厚生官にじっ 子クラブ公演	2019年 2月2日(土)	庄内厚生官 (由布市庄内町)
グランドファイナル	2月28日(木)	高田のぞみこども 園 (大分市)
あいむ保育園公演	3月12日(火)	あいむ保育園 (別府市)

学生たちは交替で各公演のリーダーを務め、それぞれの公演が終わった後、控室で反省会を開き自由に意見を出し合った。そして後日報告書を作成し、次の公演へとつなげて行った。ほぼすべての公演が好評を博し、公演及び練習を通して2年生から1年生へ技術もスムーズに伝授されて行った。



初代Smileyの学生たちとともに

2年目のSmiley

2020年、平成が令和に変わりSmileyは2年目を迎えた。しかし予期せぬことが起きた。それは、例年通りの熱心な研究会勧誘にもかかわらず1年生が5人しか入ってこず、しかも最終的には3名に減ったことである。それでも2年生11名とともに非常に熱心で令和元年度の活動をやり遂げた。練習日は火、水、金の週3回夜7時30分までとした。以下、学生たちが残した報告書に基づきながら令和元年度の活動を総括する。

(1) 別府ゴールデンウィークカーニバルでのおもちゃ作りワークショップ、公演、ダンス

5月4日(土)、5日(日) 別府市・北浜公園

(リーダー：後藤海聖、江川遙)

この時、私は海外出張と重なり他の教員に引率を依頼した。学生たちは、両日とも子どものためのおもちゃ作りワークショップを行うと同時に、2日目はステージで人形劇とダンスを演じる忙しいスケジュールだった。学生たちは、「けこみが立った！嬉しい！新Smileyとして公演でき、様々な改善点という、これからのSmileyとして成長できるきっかけができてよかった！」という喜びを記していた。「けこみ」

というのは大型人形劇舞台のことで、従来のけこみは3月に前顧問に返却し、学生たちが独自に新しいけこみを作成した。そんな学生たちのパワーと情熱に私は心打たれた。

(2) 赤十字体験パーク公演

5月11日(土) 大分市・トキハわざだタウン

(リーダー：内梨文乃・木城愛雪)

昨年は炎天下のため観客が少なかったという反省に基づいて今年は主催者が観客席にテントを張ってくれた。そのためか今年は家族連れをはじめ多くの観客でにぎわった。学生たちからは「もっと練習しておけばよかった」「1年もっと気配りができるようになりたい」という反省が出たが、1年生を含め学生たちはステージから観客席に下り、子どもたちはステージで学生たちと踊ったりと、昨年に比べて観客と一体になった公演ができ、大いに盛り上がったと私は感じた。



赤十字パーク公演

(3) 第3回アトリうむ遊園地

7月13日(土) 大分市・lichiko総合文化センター

(リーダー：神品友香・江川遙)

手作りおもちゃのワークショップと人形劇公演を行った。ワークショップに関しては「去年に比べて作れて親子で制作できる環境が作れて良かった」、人形劇に関しては「1年生の初めての演技が上手で良い刺激をもらった」という

喜びを学生たちは記した。一緒に参加したハンドベル研究会、伝承遊び研究会とともにこのイベントの盛り上げに一役買うことができた。



アトリうむ遊園地での公演

(4) 恵の聖母の家公演

7月20日(土) 白杵市野津町・恵の聖母の家

(リーダー：長野晃・増田聡美・小手川真菜)

様々な障がいを持つ入所者の方々のために学生たちは精一杯人形劇を演じた。入所者の方々は学生たちの問いかけに元気よく答え、終了後には「楽しかった」と御礼を述べて下さった。私は昨年続きこの公演を見たが、障がいを持つ方々に存分に人形劇を楽しんでもらおうという意気込みで演じる学生たちの姿、そしてそれに素直に反応し学生たちと一体になって人形劇を盛り上げる入所者の方々の姿に私は今年も心打たれた。この時は台風接近に伴う大雨で、反省会を行うことができなかったが、学生たちはこの公演の成功を通じて次回以降の公演につながる大きな「何か」が得られたものと確信する。

(5) 夏休み川崎っ子公民館クラブ公演

7月27日(土) 日出町・川崎公民館

(リーダー：後藤海聖・窪田あゆ・河野瑠奈・古賀桃花)

元気が良い小学生たちが対象で、人形劇の他にも体操、ダンスを取り入れ大いに盛り上がった。「先方から1時間半の公演を頼まれていたが、実際10分ほど足りず、急遽ダンスを踊

ることになった。普段から時間が足りなかった際のネタを作っておくことが大切だと思った」という学生たちの反省の弁。しかしそのダンスで大いに盛り上がったのだから大したものだと思う。



夏休み川崎っ子公民館クラブ公演

(6) 桜が丘保育所夕涼み会公演

8月9日(土) 大分市・桜が丘保育所

(リーダー：内梨文乃・木津莉世)

初代Smileyの三重野里菜が就職した保育所で、彼女を通して公演依頼があった。大分市中心部のホルトホールに隣接する保育所で児童数が多いせいか、夕涼み会はかなりにぎわっていた。晩6時10分と6時40分の2部公演で、両公演ともホールいっぱいの児童と保護者で盛り上がった。学生たちが「初めての夜公演だった。先生方に喜んでもらえ良かった。またこの公演を通し1年生が積極的に公演に参加するようになった」と感想を記したように、1年生が成長する姿が見られた。



桜が丘保育所夕涼み会公演

(7) 久住キンダーフェスト公演

11月3日(日) 竹田市久住・久住高原パ
ルクラブ

(リーダー：窪田あゆ・木城愛雪・
城戸海咲妃・森愛美)

正午と午後2時からの2部公演で、学生たちは多くの観客を前にステージ上で力強く演じた。「1年生、2年生両方実習明けの公演だった。また1年生だけの練習期間があり、1年生に責任感が培われた。2部公演とあり、気合いが入って、全体的に活気があった」というのが学生たちの感想で、1年生のレベルが2年生に近づいてきた。

(8) わくわくフェスティバル公演

11月13日(水) 別府大学

(リーダー：増田聡美・内梨文乃・河野瑠奈)

別府市内の約100名の保育園児たちに人形劇を披露した。久住キンダーフェストからわずか10日後の公演だったが、学生たちは「練習期間が少なくすぐ通し練習をした。子どもたちが一緒に歌ったり踊ったりしてくれ、楽しく公演をすることができた」と成功の評価を下した。

(9) とぜん幼稚園公演

12月27日(日) 大分市とぜん幼稚園

(リーダー：長野晃・内梨文乃・小手川真菜)

報告書には「今回の公演は、反省会の前に先生方から感想を教えてくださいました。様々な年齢にも対応したMPSや、子どもたちの反応をしっかりと見た関わり方などを褒めてもらいました。今回褒めてもらえたことを忘れずに活動していきたいです」と学生たちの前向きな意思が記されていた。

して学生たちが成長していく姿が手に取るように伝わってくる。2年生は、過去の先輩たちがそうであったように、Smileyの体験をきつと将来に活かすだろう。また1年生が2年生のレベルに近づきつつあることが実感できるが、最初に述べたように現在1年生は3人しかいない。せっかくここまで成長してきたのだから、なんとか新年度は新入生の中から新しい部員を増やしてSmileyを存続させ、新入部員とともに新たな成長を促したい。いかにして多くの新入部員を勧誘するかは今後学生たちと一緒に知恵を絞って考える予定である。



2代目Smileyの学生たちとともに

MPS研究会の今後の課題

学生たちの報告書を読みながら2019年度の活動を振り返ってみると、人形劇公演その他を通